

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程《一般・外国人》 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 (可)・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

以下の文章は、伊藤正己＝加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣、2005年）からの抜粋である（同書7-11頁〔伊藤正己執筆〕）。この文章を読んで、以下の【設問】に答えなさい。

なお、解答にあたっては、本問が、法律学に関する知識や意見の内容の当否を評価するものではなく、日本語に関する読解力や文章力を問うものであることに留意すること。

著作権の関係で、本文は掲載いたしません。

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程《一般・外国人》 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 ()・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

著作権の関係で、本文は掲載いたしません。

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程<一般・外国人> 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 (可)・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

著作権の関係で、本文は掲載いたしません。

【設問】

- (1) 下線部(1)『社会あるところに法あり』という言葉は、どのような内容として用いられているか。ここでの「法」という用語の内容に留意しつつ、上記文章の内容に沿って説明しなさい。
- (2) 下線部(3)『行為規範』とは、どのような意味で用いられているか。上記文章の内容に沿って説明しなさい。
- (3) 行為規範としての法、また、そのうち下線部(2)『近代国家の法』とは、それぞれどのような性質を有するか。他の各種の行為規範と比較しながら、上記文章の内容に沿って説明しなさい。